

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第7部門第3区分  
【発行日】令和6年5月23日(2024.5.23)

【国際公開番号】WO2023/032453  
【出願番号】特願2023-545120(P2023-545120)

【国際特許分類】

H 0 4 L 1 2 / 2 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

G 0 6 Q 5 0 / 1 0 ( 2 0 1 2 . 0 1 )

【 F I 】

H 0 4 L 1 2 / 2 8 5 0 0 F

G 0 6 Q 5 0 / 1 0

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月24日(2022.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータが、  
機器又は設備を有する施設のユーザに関するユーザ情報を取得し、  
前記ユーザ情報は、前記ユーザの認知機能のレベルを含み、  
前記ユーザの前記レベルに応じた機器又は設備の機能を制限するルールを参照して、前記施設が有する機器又は設備の機能の制限内容を決定し、  
前記制限内容を示す情報を出力し、  
前記施設は、複数の空間に区画され、  
更に、前記複数の空間のうち現在利用中又は利用予定の空間を、制限対象の空間として  
特定し、  
前記制限内容の決定では、  
前記制限対象の空間が有する機器又は設備の機能の制限内容を決定する、  
機能制限方法。

30

【請求項2】

(削除)

【請求項3】

更に、前記施設の複数のユーザの中から、前記施設を現在利用中又は利用予定の第1のユーザと前記第1のユーザとは異なる第2のユーザとを特定し、  
前記制限対象の空間の特定では、  
前記複数の空間のうち前記第1のユーザが現在利用中又は利用予定の空間を、前記制限対象の空間として特定し、  
前記ユーザ情報の取得では、  
前記第2のユーザに関する前記ユーザ情報を取得し、  
前記制限内容の決定では、  
前記第2のユーザの前記レベルに応じた機器又は設備の機能を制限するルールを参照して、前記制限対象の空間が有する機器又は設備の機能の制限内容を決定する、  
請求項1に記載の機能制限方法。

40

【請求項4】

前記ユーザ情報は、前記複数のユーザのそれぞれを分類するための種別を含み、

50

前記第 1 のユーザの特定では、  
前記施設に存在する一以上のユーザを検出し、  
前記一以上のユーザのそれぞれに関する前記ユーザ情報を取得し、  
前記種別が所定の種別である前記ユーザ情報が示すユーザを、前記第 1 のユーザとして  
特定する、  
請求項 3 に記載の機能制限方法。

【請求項 5】

前記ユーザ情報は、前記複数のユーザのそれぞれを分類するための種別を含み、  
前記第 1 のユーザの特定では、  
前記複数のユーザのそれぞれに関する前記ユーザ情報を取得し、  
前記種別が所定の種別である前記ユーザ情報が示すユーザを、前記第 1 のユーザとして  
特定する、  
請求項 3 に記載の機能制限方法。

10

【請求項 6】

更に、前記所定の種別の入力を受け付ける、  
請求項 4 又は 5 に記載の機能制限方法。

【請求項 7】

前記第 1 のユーザは、前記第 1 のユーザを指定する入力指示に基づいて特定される、  
請求項 3 に記載の機能制限方法。

【請求項 8】

前記ユーザ情報は、前記複数のユーザのそれぞれを分類するための種別を含み、  
前記第 2 のユーザの特定では、  
前記複数のユーザのそれぞれに関する前記ユーザ情報を取得し、  
前記第 1 のユーザに関する前記ユーザ情報とは異なる前記種別を含む前記ユーザ情報が  
示すユーザを、前記第 2 のユーザとして特定する、  
請求項 4、5 及び 7 の何れか一項に記載の機能制限方法。

20

【請求項 9】

前記制限対象の空間の特定では、  
前記複数の空間の利用予定を示すスケジュール情報を取得し、  
前記スケジュール情報に基づいて、前記制限対象の空間を特定する、  
請求項 1 に記載の機能制限方法。

30

【請求項 10】

前記制限対象の空間の特定では、  
前記複数の空間のそれぞれに存在するユーザを検出し、  
前記ユーザの検出結果に基づいて、前記制限対象の空間を特定する、  
請求項 1 に記載の機能制限方法。

【請求項 11】

コンピュータが、  
機器又は設備を有する施設のユーザに関するユーザ情報を取得し、  
前記ユーザ情報は、前記ユーザの認知機能のレベルを含み、  
前記ユーザの前記レベルに応じた機器又は設備の機能を制限するルールを参照して、前  
記施設が有する機器又は設備の機能の制限内容を決定し、  
前記制限内容を示す情報を出力し、  
更に、前記ユーザの行動に関する行動情報を取得し、  
前記行動情報に基づいて、前記ユーザの前記レベルが現在とは異なるレベルに変化した  
か否かを判定し、  
前記ユーザの前記レベルが現在とは異なるレベルに変化したと判定した場合、前記ユー  
ザに関する前記ユーザ情報に含まれる前記レベルを、前記異なるレベルに更新する、  
機能制限方法。

40

【請求項 12】

50

前記行動情報は、前記ユーザの属性、位置、音声及び画像のうちの少なくとも一つを含む、

請求項 1 1 に記載の機能制限方法。

【請求項 1 3】

機器又は設備を有する施設のユーザに関するユーザ情報を取得する取得部と、

前記ユーザ情報は、前記ユーザの認知機能のレベルを含み、

前記ユーザの前記レベルに応じた機器又は設備の機能を制限するルールを参照して、前記施設が有する機器又は設備の機能の制限内容を決定する決定部と、

前記制限内容を示す情報を出力する出力部と、

を備え、

10

前記施設は、複数の空間に区画され、

更に、前記複数の空間のうち現在利用中又は利用予定の空間を、制限対象の空間として特定する特定部を備え、

前記決定部は、前記制限対象の空間が有する機器又は設備の機能の制限内容を決定する

、

機能制限装置。

【請求項 1 4】

コンピュータを機能させるプログラムであって、

前記コンピュータを、

機器又は設備を有する施設のユーザに関するユーザ情報を取得する取得部と、

20

前記ユーザ情報は、前記ユーザの認知機能のレベルを含み、

前記ユーザの前記レベルに応じた機器又は設備の機能を制限するルールを参照して、前記施設が有する機器又は設備の機能の制限内容を決定する決定部と、

前記制限内容を示す情報を出力する出力部、

として機能させ、

前記施設は、複数の空間に区画され、

更に、前記複数の空間のうち現在利用中又は利用予定の空間を、制限対象の空間として特定する特定部として機能させ、

前記決定部は、前記制限対象の空間が有する機器又は設備の機能の制限内容を決定する

、

30

プログラム。

40

50